

平成 22 年度 行政評価推進委員会の進め方について（案）

○ 外部評価の役割

施策の目的に照らし、施策に対する事業の貢献度を評価するとともに、総合振興計画の実現に向けた施策・活動となっているか、市民への説明責任を果たしているか、など改善点、必要性等について審議、評価し、改善すべき内容等を市長に提言します。

○ 行政評価推進委員会のスケジュール

| 日時等 | 概 要 | 場所 |
|----------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------|
| 第 1 回 7 月 26 日(月) 14 : 00～ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 22 年度行政評価の取り組みについて ○ 平成 22 年度行政評価推進委員会の進め方について ○ 施策評価（3 施策、2 時間程度） <ul style="list-style-type: none"> ・ 4-2 住民自治の地域づくりを進める ・ 4-3 多様な担い手のパートナーシップを育てる ・ 4-4 大学等と連携し、ともにまちをつくる | 南丹市役所 2 号庁舎 101 会議室 |
| 第 2 回 8 月 2 日(月) 14 : 00～ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策評価（2 施策、3 時間程度） <ul style="list-style-type: none"> ・ 2-2 資源が循環するまちをつくる ・ 2-6 暮らしの安全と安心を守る | 南丹市役所 2 号庁舎 301 会議室 |
| 第 3 回 8 月 17 日(火) 14 : 00～ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策評価（2 施策、3 時間程度） <ul style="list-style-type: none"> ・ 1-4 医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する ・ 4-5 未来を担う人づくりを進める | 南丹市役所 2 号庁舎 301 会議室 |
| 第 4 回 8 月 30 日(月) 14 : 00～ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 施策評価（3 施策、3 時間程度） <ul style="list-style-type: none"> ・ 2-1 豊かな緑と清流を守る ・ 2-3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる ・ 1-5 ふるさとで働ける場をふやす | 南丹市役所 2 号庁舎 301 会議室 |
| 第 5 回 9 月 27 日(月) 14 : 00～ | <ul style="list-style-type: none"> ○ 平成 22 年度外部評価の総括 ○ 平成 22 年度行政評価推進委員会報告書 | 南丹市役所 2 号庁舎 301 会議室 |

○ ヒアリングの進め方

1つの施策につき、おおむね 1 時間を目安に行います。

- ① 始めに主管部長等から施策の概要について説明 (おおむね 10分)
- ② 課題・問題点に対してのヒアリングや主管部局等との意見交換 (おおむね 40分)
- ③ 委員の合議による評価 (おおむね 10分)

○ 評価の方法

「外部評価の視点」を参考に、昨年度同様、施策ごとに総合的に判断して「優」「良」「可」「不可」の判定をします。

また、改善すべき内容等を提示します。

【外部評価の視点】

| 区分 | 視 点 | 施策 評価 | 事業 評価 |
|-------|----------------------------------------------------------------------|----------|-------------|
| 妥 当 性 | ・ 市民や社会の要求に合致しているか ・ 上位政策を達成するために必要な施策・事業か ・ 行政が関与しなければならない事業か | ● ● | ● ● ● |
| 有 効 性 | ・ 市民の満足度は高いか ・ 成果指標値から見て、施策目標の達成度はどうか ・ 目的達成のための手段は有効か | ● ● | ● ● |
| 効 率 性 | ・ 費用対効果の度合いはどうか ・ それが最も効率的な方法なのか | ● | ● ● |

○ 評価に際しての資料

- ・ 施策評価表
- ・ 事業評価表
- ・ 事業貢献度評価
- ・ 参考となる資料

(参 考)

○ 平成22年度 評価施策(案)

| | 政策 | 施策 | 事業数 | 主管部局 |
|-----|----------------------|--------------------------------|-----|-------|
| 第1回 | 第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く | 2 住民自治の地域づくりを進める | 13 | 企画管理部 |
| | 第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く | 3 多様な担い手のパートナーシップを育てる | 4 | 企画管理部 |
| | 第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く | 4 大学等と連携し、ともにまちをつくる | 2 | 企画管理部 |
| 第2回 | 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る | 2 資源が循環するまちをつくる | 23 | 市民部 |
| | 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る | 6 暮らしの安全と安心を守る | 24 | 総務部 |
| 第3回 | 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る | 4 医・食・住の充実と高齢者や障がいのある人の自立を支援する | 106 | 福祉部 |
| | 第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く | 5 未来を担う人づくりを進める | 4 | 教育委員会 |
| 第4回 | 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る | 1 豊かな緑と清流を守る | 44 | 農林商工部 |
| | 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る | 3 南丹ブランドの「ほんまもん」をつくる | 39 | 農林商工部 |
| | 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る | 5 ふるさとで働ける場をふやす | 7 | 農林商工部 |

○ 平成21年度 評価施策

| | 政策 | 施策 | 事業数 | 主管部局 |
|--------------|----------------------|-----------------------|-----|-------|
| 第1回 7月2日 | 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る | 2 明日を担い、内外で活躍するひとを育てる | 30 | 教育委員会 |
| | 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る | 5 伝統文化を継承する | 14 | 教育委員会 |
| 第2回 7月29日 | 第3章 人・物・情報を高度につなげる | 5 双方向の情報通信基盤をつくる | 3 | 企画管理部 |
| | 第3章 人・物・情報を高度につなげる | 4 誰もが安心な地域交通システムをつくる | 4 | 企画管理部 |
| | 第3章 人・物・情報を高度につなげる | 2 鉄道をさらに便利にする | 8 | 企画管理部 |
| 第3回 8月27日 | 第3章 人・物・情報を高度につなげる | 1 高速移動の網を広げる | 0 | 土木建築部 |
| | 第3章 人・物・情報を高度につなげる | 3 安全で快適な主要道路でつなぐ | 6 | 土木建築部 |
| | 第3章 人・物・情報を高度につなげる | 6 にぎわいの市街地をつくる | 8 | 土木建築部 |
| 第4回 9月14日 | 第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く | 6 行財政改革を推進する | 8 | 総合政策室 |
| | 第4章 共に担うまちづくりの仕組みを築く | 1 共に生きるまちづくりを進める | 20 | 市民部 |
| | 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る | 3 生涯にわたって学び、活かす機会をつくる | 31 | 教育委員会 |

○ 平成20年度 評価施策

| | 政策 | 施策 | 事業数 | 主管部局 |
|-------|----------------------|--------------------|-----|-------|
| 第2・3回 | 第1章 生涯充実して暮らせる都市を創る | 1 安心して子育てできるまちをめざす | 35 | 福祉部 |
| 第3・4回 | 第2章 自然・文化・人を活かした郷を創る | 4 ひとを温かく迎える | 16 | 農林商工部 |